

## 事業所自己評価表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー 佐々木 (浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田 (秀)・佐藤 (尚)・佐々木 (康)・佐藤 (雄)・沢居・佐藤 (朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出・

### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	18 人	0 人	0 人	18 人

前回の改善計画	利用開始後の様子や支援の具体的な対応の仕方をその日の申し送り以外だけではなく連絡帳など活用し全職員に情報を共有していくようにする。職員間の意識の違い、技術の差も職員間のコミュニケーションアップを図り切磋琢磨しあえるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用時は訪問サービスの提供回数を増やしている。そうすることで本人の生活リズムや過ごし方など把握することができている。また記録や会議などでも情報は共有できていた。

### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	17			18
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		15	3		18
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	12	1		18
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	13	3		18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用開始前には口頭だけではなくフェイスシート、連絡ノートなどで共有している。
②	知り得た情報は実践しており訪問回数を増やしたり食事などの時間に短時間だけでもコミュニケーションを図っている。その他、活動にも参加してもらえよう声掛けも行っている。
④	ご家族の面会、来訪時に状況報告をし、関係作りに配慮している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	その時によっては事前情報が少ない時もあり共有しきれていない事もある。 急な対応の時は情報伝達が不十分な時もあった。
②	情報だけでは利用者様の様子が見えない事もある。
③	まとめた時間を取り、話をする機会が持てない。
④	ご家族との関係作りは責任者に任せてしまっている。目の前の事に精一杯になってしまい余裕がない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員によりコミュニケーションに違いがあることで情報量も個々に代わっているため、全体会議で伝達していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 佐々木 (浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田 (秀)・佐藤 (尚)・佐々木 (康)・佐藤 (雄)・沢居・佐藤 (朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	7 人	0 人	18 人

前回の改善計画	ケア会議時に現状の問題点を検討し合うことばかりではなく、「～したい」の実現や目標に沿った内容を話し合う事も必要。
前回の改善計画に対する取組み結果	目標に沿った事を検討する機会 (会議) は少なかった印象。しかし、その中でも日々の関わりの中でアセスメントを行い「～したい」を実現することができた方もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		11	7		18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		9	9		18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	11		18
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		8	9	1	18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	目標や「～したい」ことは理解し声掛けや話を伺ったりすることは出来ていた。その方に張りのある生活を与えられていた。毎月のモニタリングで確認は出来ている。
②	「～が食べたい」という声を取り入れレクリエーションで実施できた。
③	自身で「～したい」と言葉にできる方に対しては取り組めた。会議などで職員同士で意見交換を行い本人に会う支援を検討し実践していた。
④	職員同士で意見を言い合ったり話し合いができていた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	職員それぞれ担当を持っているが、中には把握できていない職員も。
②	利用者様の希望や想いがわかっても日々の業務で中々その部分にアプローチが出来ていない。
③	②と同様
④	ミーティングで共有はするが実践、振り返りまで活かしていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
昨年同様に「～したい」という利用者様の想いに寄り添ったケア、活動を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	佐々木(浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田(秀)・佐藤(尚)・佐々木(康)・佐藤(雄)・沢居・佐藤(朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	17人	1人	人	18人

前回の改善計画	フェースシートなどを活用し利用者様の情報を把握する。 常に業務の効率化と個々のスキルアップを行いコミュニケーションの時間を作る。 個々で得た情報は細部まで記録しミーティングや連絡ノートなどで共有する事を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の様子については記録や会議で共有し日常生活の支援で活用することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	14		18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	14	1		18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		11	7		18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	15			18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	13	3		18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	日々のコミュニケーションの中で以前の暮らし方や職業等聞いている。
②	状況に合わせた支援が行えており職員間の共有も出来ている。
③	ケア会議などで各担当者が中心となり利用者様の希望や想いを共有している。
④	体調変化時は職員間で共有し様子観察を行っている。
⑤	必要時には医療機関との連携を図り様子観察等行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	全て把握できているわけではなくコミュニケーションが不足している事も…。
②	時には判断が遅くなりその時の最善の支援が出来ていないことがある。
③	希望や想いなど聞き取りは出来ていてもそれを実行できていないこと、継続的な関わりが出来ていない。
④	⑤職員によっては判断ができないこともあり対応が遅れてしまうこともある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当制を用いているので、利用者様の担当職員が変化、想いの発信をケア会議や申し送りの際に報告し共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐々木(浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田(秀)・佐藤(尚)・佐々木(康)・佐藤(雄)・沢居・佐藤(朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	9人	1人	18人

前回の改善計画	地域資源などの計画的な活用 ケア会議の場で「地域資源の活用」について勉強の場を設ける 地域活用の職員の積極的な参加と活動内容の共有
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問理美容、移動販売など自身で外出できない方にも地域との関わりが切れないように地域資源を活用することができたが地域資源を学ぶ機会は設けられず、地域に関わる職員も限られてしまっているのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	7		18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		12	6		18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		12	3	3	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	9	4	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 利用者様とコミュニケーションやフェースシートを活用し、以前の生活などを把握している。 ② 家族との関係は切れない様定期的な報告や活動状況などの様子は写真として送付している。 ③ 高齢者住宅併設の為、様子など把握しやすい状況下である。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
② 特定の職員はご家族との交流はあるが、現場に入っていると難しい部分はある。 ④ ②同様に地域との交流は管理者が中心に行っているため全職員が関わる機会が少ない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域資源を理解していない職員がいるのが現状。地域資源についての研修を開催し理解を深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐々木 (浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田 (秀)・佐藤 (尚)・佐々木 (康)・佐藤 (雄)・沢居・佐藤 (朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	4人	0人	18人

前回の改善計画  
小さな変化や些細なことでも情報共有できるように記録に残せる様な環境づくりをしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
申し送りで伝えている事が記録に残せていない事がある。その結果伝わりきらなく、医療機関、ご家族などに必要な情報を伝えるまでに時間を要してしまう事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	9	8		18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	12	3		18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	15	1		18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	14	3		18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① ご家族にも協力して頂く事で事業所の中だけで完結することなく地域も含めた関わりで支援出来る  
② 利用者様の状態、状況に合わせたサービスを提供しており、適宜柔軟に対応している。  
③ 変化時は記録に残し情報を共有している。  
④ 本人の目標や状態に合わせてプランを都度変更しサービス提供を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① 地域資源を使って支援している部分が何を指すかわからない…。  
③ 変化時は申し送りや会議で共有していたが、職員の中で認識の違いなどがあり細かい部分での違いやずれが生じる事もあった。  
④ 職員によっては臨機応変に支援することができない職員も多いのが現状。細かな指導が不十分

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
職員間の認識の違いについては都度確認を行っていき各担当者が中心となりしっかりと伝達していく。記録の重要性を理解し記録についての研修を開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 佐々木(浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田(秀)・佐藤(尚)・佐々木(康)・佐藤(雄)・沢居・佐藤(朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	5人	5人	18人

前回の改善計画	地域や町内会の行事への参加を回覧版を使って把握、発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	回覧板を活用させて頂き、事業所行事を案内することができた。その結果、昨年度より行事参加人数の増加に繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	6	4	7	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	2	15	18
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	3	15	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	5	1	10	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 状態変化等がありサービスを変更、提案や訪問診療に切り替えた方に対しての会議は行っている。	
② 主に運営推進会議で関わりを持たせて頂いている。	
③ 町内会行事には率先して関わりを持つ事ができた。町内会からも認識頂けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 現場での業務があるため全職員が会議に関わる機会を持ってない。	
②③ 上記同様に全職員が携わることができず特定の職員しか参加できていない。	
④ 地域には発信しているがまだまだ認知度が低い状態。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
会議には現場の職員も参加できるよう業務の見直し、改善を行っていく。参加が難しい場合にも事前に職員の意見も取り入れ会議の開催を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)

7. 運営

メンバー 佐々木 (浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田 (秀)・佐藤 (尚)・佐々木 (康)・佐藤 (雄)・沢居・佐藤 (朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11 人	7 人	0 人	18 人

前回の改善計画	意見、苦情については即時対応を実践し再発防止に努める。 町内会との連携を取り行事の予定と案内や介護についての説明会などを開催し地域との関係を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	苦情聞かれた時には早期に対応を行ってきたが改善出来なかったケースもあった。 地域との交流は昨年度より行えた。(地域行事参加、事業所行事案内など…)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	6	7	1	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	13	4		18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	6	3	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	14	1	18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 意見などは管理者、リーダーなどに伝え早期に対応している。 ②③ 苦情については職員間で共有し再発防止に努めている。 ④ 行事については昨年度より発信することができた。成果として秋祭りには昨年より多くの方に参加してもらえた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
② 苦情を共有し再発防止には努めてはいるが、繰り返し聞かれることもあり。 ④ 地域と協働した活動が行えていない。職員自身が地位との関わりについて理解が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
苦情があった場合には本人に聞き取りを行い早急に対応していく。事業所間でも共有し具体的な改善策を事業所として提示していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐々木(浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田(秀)・佐藤(尚)・佐々木(康)・佐藤(雄)・沢居・佐藤(朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	5人	1人	18人

前回の改善計画	研修や介護技術講習の参加率や意識を高め、参加されていない職員にも情報共有できるような環境づくりを行っていく(ケア会議で研修報告など)
前回の改善計画に対する取組み結果	研修、講習などは特定の職員の参加に留まってしまったが、成果として研修で学んできたことを会議で他職員に伝える機会が設けられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	8	5	2	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	6	6	18
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	14	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	11	4	2	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②	研修には参加できている。参加した後はケア会議でフィードバックをする事で研修に参加した職員の理解度、他職員へも共有スキルアップに繋げることができた。
④	事故防止対策委員会が中心となりアクシデントが起こった後の対策を早急に立てる事ができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②	研修(特に外部)に参加する職員は限られている。
③	事業所として地域に出ていく環境になっていない。
④	対策を立てた後の検証が不十分であり同様の事故が起こってしまう事もあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
昨年同様に研修に参加していない職員に対してはフィードバックできる機会を設ける。リスクマネジメントに関しては事故防止対策委員会が中心となり検証(1週間を目安)まで実施し再発防止に努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 26 日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐々木(浩)・後藤・鶴木・松江・安齋・鎌田(秀)・佐藤(尚)・佐々木(康)・佐藤(雄)・沢居・佐藤(朋)・牧野・榎本・高島・星野・櫻岡・成田・東出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	5人	2人	18人

前回の改善計画	サービス向上委員会が中心となり言葉遣いなど指摘し改善に繋げていく。接客・接遇の勉強会を開催し、定期的に見直せる環境を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	都度指導はしてきたつもりだが、定期的な見直しができるような環境が整える事は出来なかった。サービス向上委員会としても機能していなく、働きかけも不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	15	3			18
②	虐待は行われていない	15	3			18
③	プライバシーが守られている	6	12			18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	8	7	18
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	15			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①② 身体拘束、虐待は行っていない。定期的な研修も実施している。 ③ 申し送りなどイニシャルを用いた報告を行っている。着替えなど羞恥心に関わる事に関しても声掛けや周りの環境に配慮し行っている。 ⑤ 個人情報の管理は行なえている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
② 言葉遣いや気遣いなど配慮に欠ける言動は度々見られているのが現状。その都度指導は行っているが改善しきれていない…。 ④ 成年後見制度を理解していない職員が多く、活用等含め、不透明な部分がある。それに対し事業所で学ぶ機会も設けていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
身体拘束、虐待は行っていないが言葉遣いなど改善が必要な事もある。都度指導し定期的な研修を実施し改善に努めていきたい。 成年後見制度については事業所内で研修を行わずは職員の理解を深める事。	